

横浜市はインフルエンザの流行期に入りました！ 施設への持ち込みと感染拡大を防止しましょう！

- ◇ 市内では学級閉鎖が報告されています。
- ◇ 集団発生の多くは職員や面会者による持ち込みが発端となっています。
- ◇ インフルエンザワクチンの最も大きな効果は「重症化」を予防することです。一定程度発病を予防することができますが、接種すれば絶対にかからないというものではありません。予防接種を過信せず感染予防策を徹底しましょう。

1 持ち込みの防止及び感染拡大防止

(1) 職員の健康管理の徹底（予防接種を過信せず予防策を徹底する。）

- ◆ 出勤前の検温の徹底（発熱者は勤務させずに受診させる。）
- ◆ 発熱などの体調不良時は出勤前に必ず管理者へ報告するよう指導
- ◆ 無症状の職員も含めて全員のマスクの着用を徹底（症状が出る1日前からウイルスが排出されます。）
- ◆ 1ケア1手洗い、手袋の使用の徹底

(2) 面会に関する注意事項

- ◆ マスクの着用、手洗い又はアルコールによる手指消毒の積極的勧奨
- ◆ 地域の流行状況に応じた面会制限の実施（今後の注意報・警報にご注意ください。）

2 流行情報の確認

横浜市衛生研究所では、原則毎週木曜日に「横浜市インフルエンザ流行情報」を発出します。区ごとの発生動向を公表していますので対策にお役立てください。

- ◆ 横浜市衛生研究所HP（市内の最新の感染症発生状況）
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>

3 参考情報

横浜市保健所では、「冬の感染症予防啓発」の一環として、保健所ホームページに「手洗い」をテーマに啓発ポスターを掲載しています。

- ◆ 横浜市保健所HP
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/hokenjo/hokenjo.html>

- ◇ 自由にダウンロードできますので、施設内での感染予防対策にご活用ください！！



- 石けんを使ってよく泡立て、十分に洗い流しましょう。
- 指先や指の間、手首などは、特に丁寧に洗きましょう。
- トイレ後や食事前、帰宅時など、こまめに手を洗しましょう。

横浜市保健所

横浜市健康福祉局健康安全課
電話：045-671-2445